

当初設計

2024年度

蔵王 2 1 号線 ・ 6 - 1

福山市 蔵王 町 地内

道路のり面修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=76. 0m	
	繊維補強モルタル吹付工	A=1391m2	
	空隙充填注入工	V=46m3	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路のり面修繕工事（蔵王21号線・6－1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 熱中症対策

・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。

4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。

5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。

6 積算方法は次のとおりとする。

（1）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。

7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。

8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。

・「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。

・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。

・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。

・ロゴ標示期限は2026年（令和8 年）3月31日とする。

（デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～14に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.04
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.03（港湾工事を除く。）
エ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
オ 現場管理費	1.05（港湾工事を除く。）
カ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.05
イ 機械経費（賃料）	1.04
ウ 共通仮設費	1.04
エ 現場管理費	1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

- 15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

- 16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトロラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4 週 8 休以上	月単位 4 週 8 休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日モデル工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

**週休2日
モデル工事**

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-06.07.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代		前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	07 砂防・地すべり等工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
法面工					Y1D0303 レベル2
	1	式			
吹付工					Y1D030302 レベル3
	1	式			
モルタル吹付 【セメント種類,吹付厚】					Y1D03030201レベル4
		m2			
繊維補強モルタル吹付工 タイプ4					V0001 00
	1,391	m2			単第0 -0001 表
空隙充填注入工					V1008 00
	46	m3			単第0 -0016 表
仮設工					Y1D0310 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1D031021 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

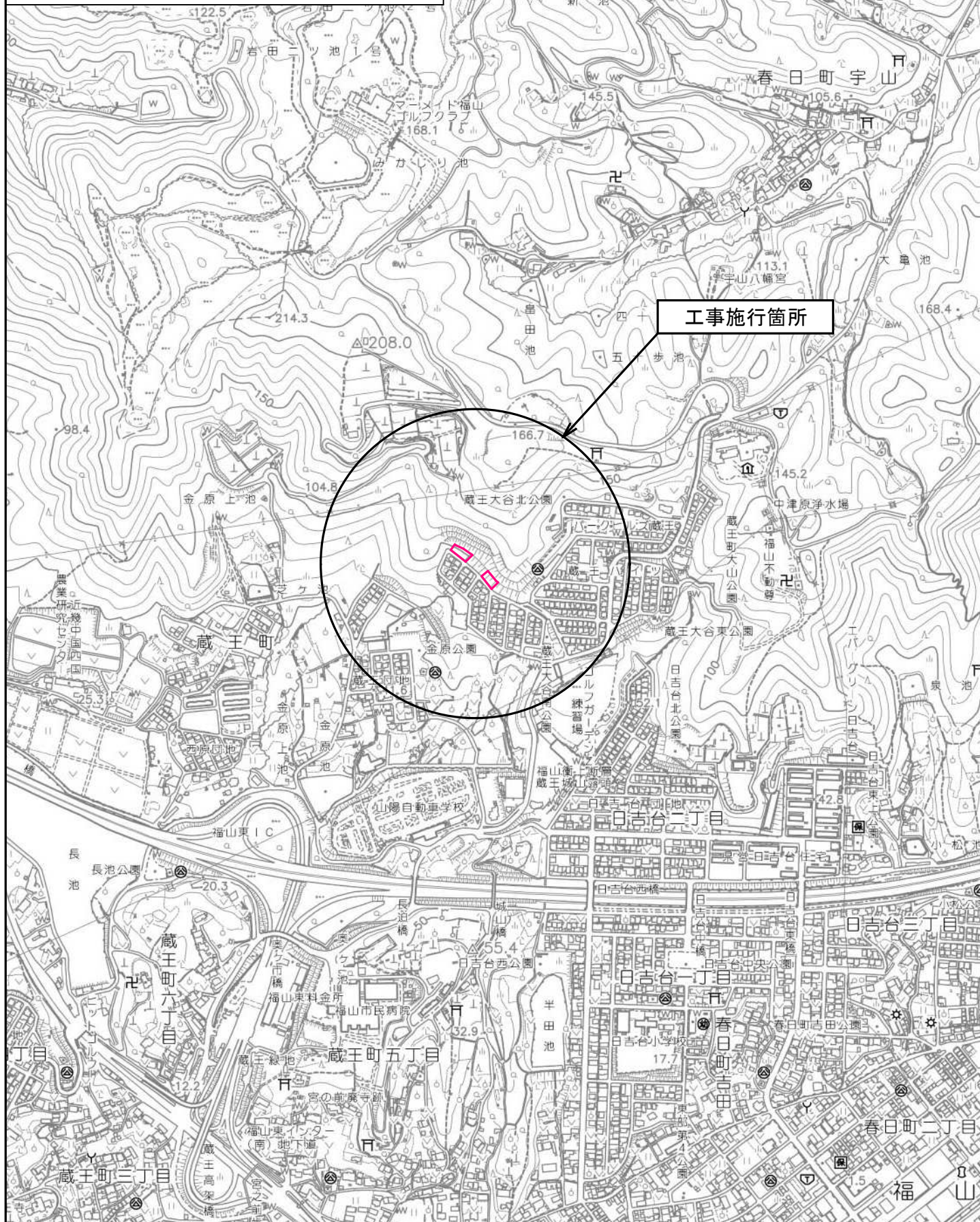
頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員		人			Y1D03102101レベル4
交通誘導警備員B		人			R0369 00
	122	人			
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					

本工事費 内訳表

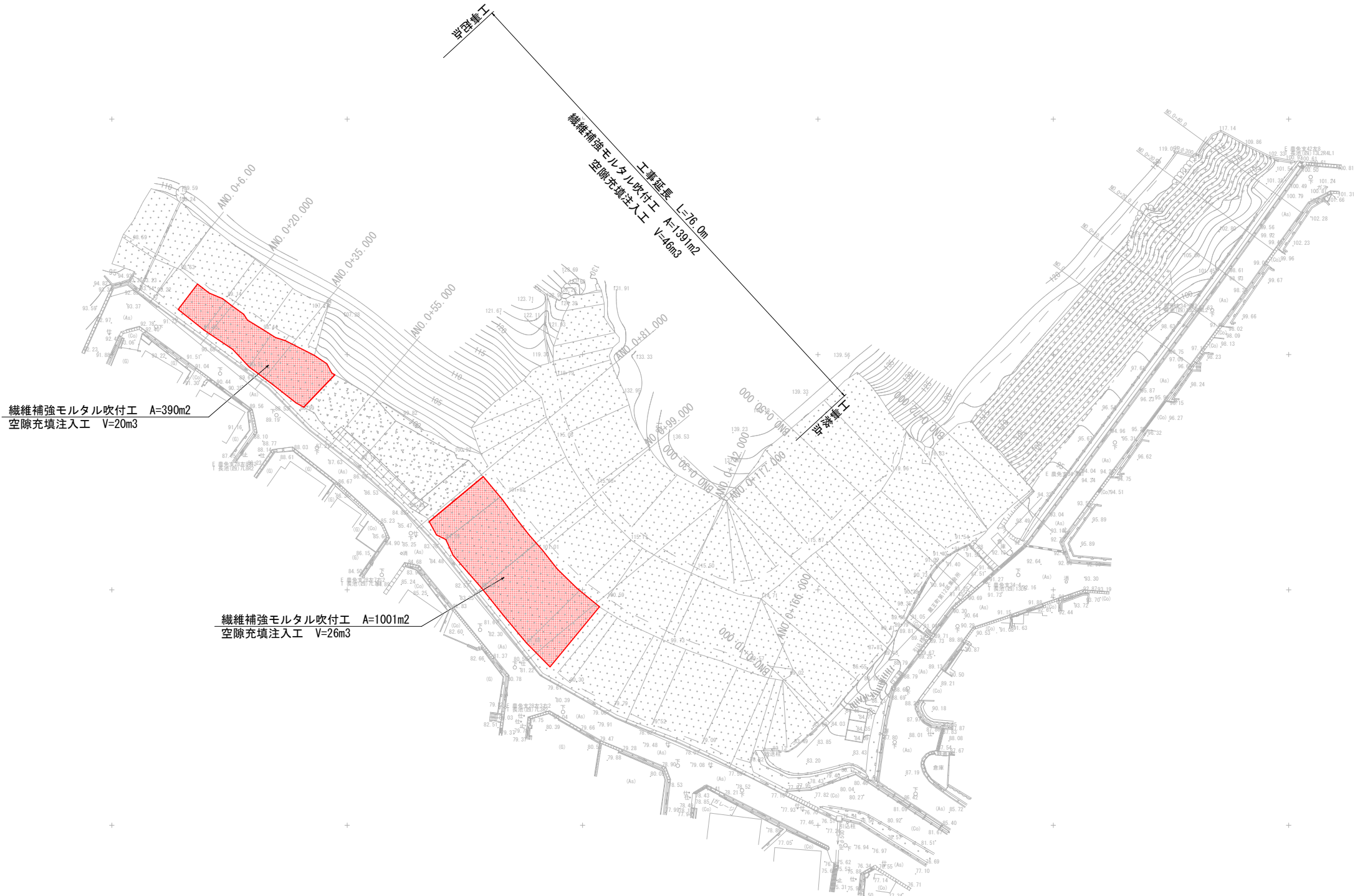
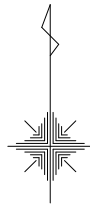
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

図面番号	1 / 5	縮 尺	S=1:10,000
工 種	道路のり面修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	蔵王21号線・6－1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			



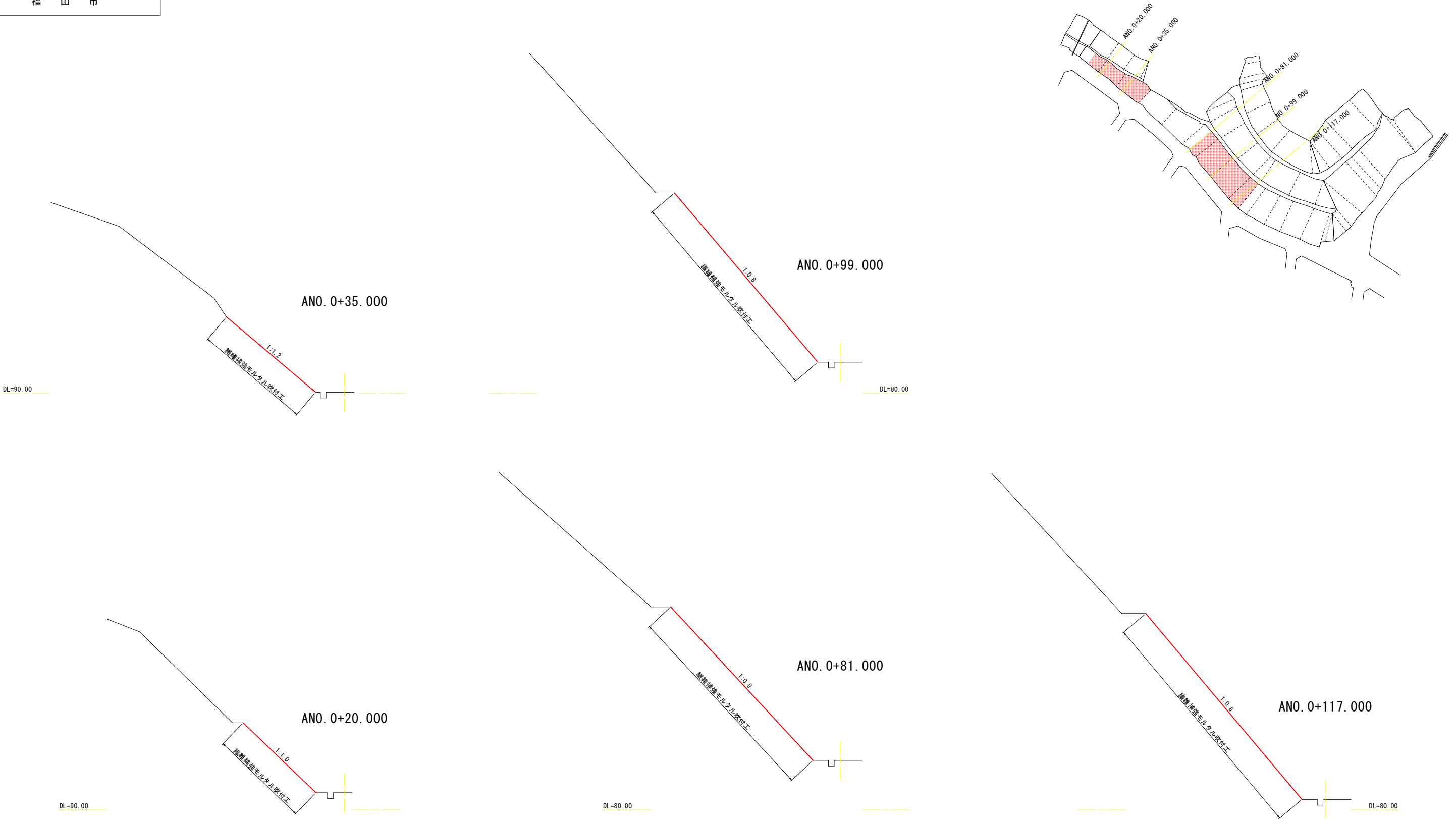
図面番号	2 / 5	縮尺	1:500
工種	道路のり面修繕工事		
種別	平面図	番号	/
路線名 河川	蔵王21号線・6-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
	福 山 市		

平面図



図面番号	3 / 5	縮尺	1:200
工種	道路のり面修繕工事		
種別	横断面図	番号	/
路線名 河川	蔵王21号線・6-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

横断面図

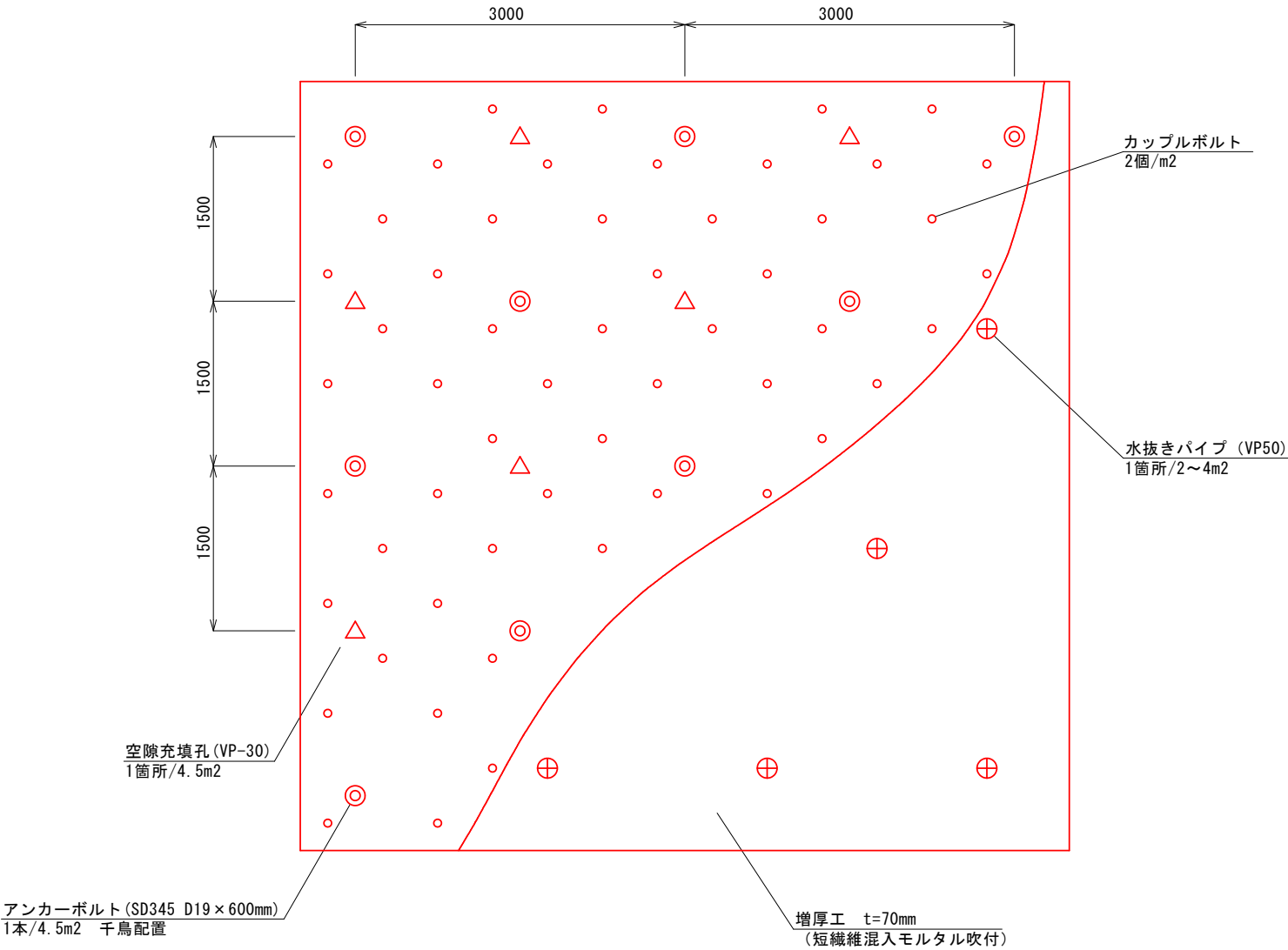


図面番号	4 / 5	縮尺	図示
工種	道路のり面修繕工事		
種別	標準図	番号	/
路線名 河川	蔵王21号線・6-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

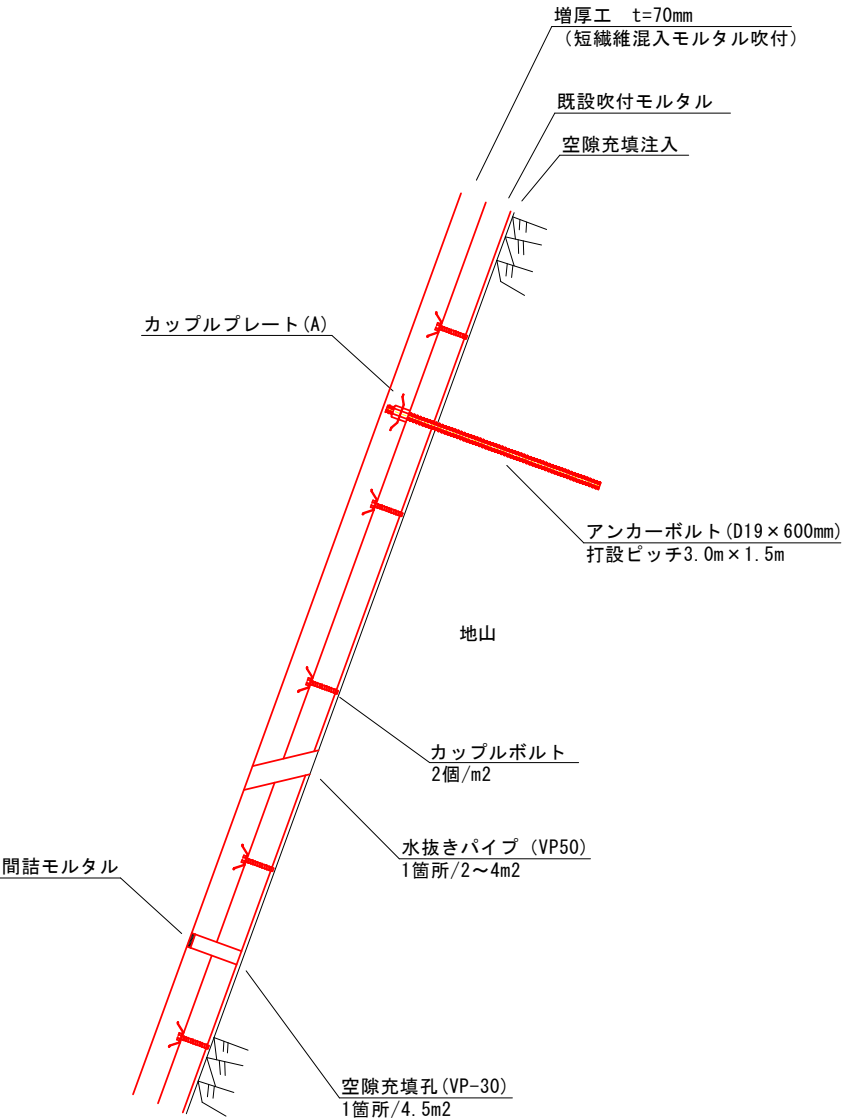
標準図

繊維補強モルタル吹付工（増厚工 タイプ4）

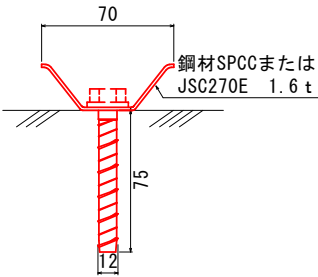
標準展開図
S=1:30



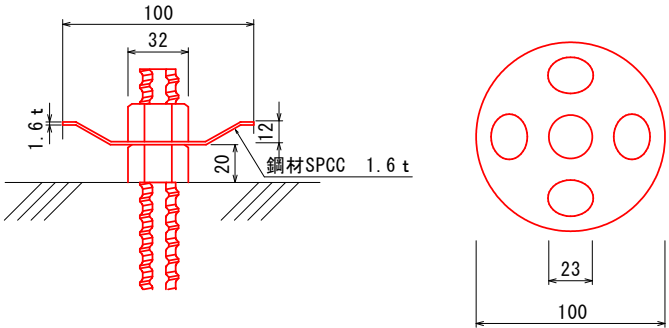
標準断面図
S=1:10



カップルボルト詳細図
S=1:2



カップルプレート (A) 詳細図
S=1:2



数 量 表

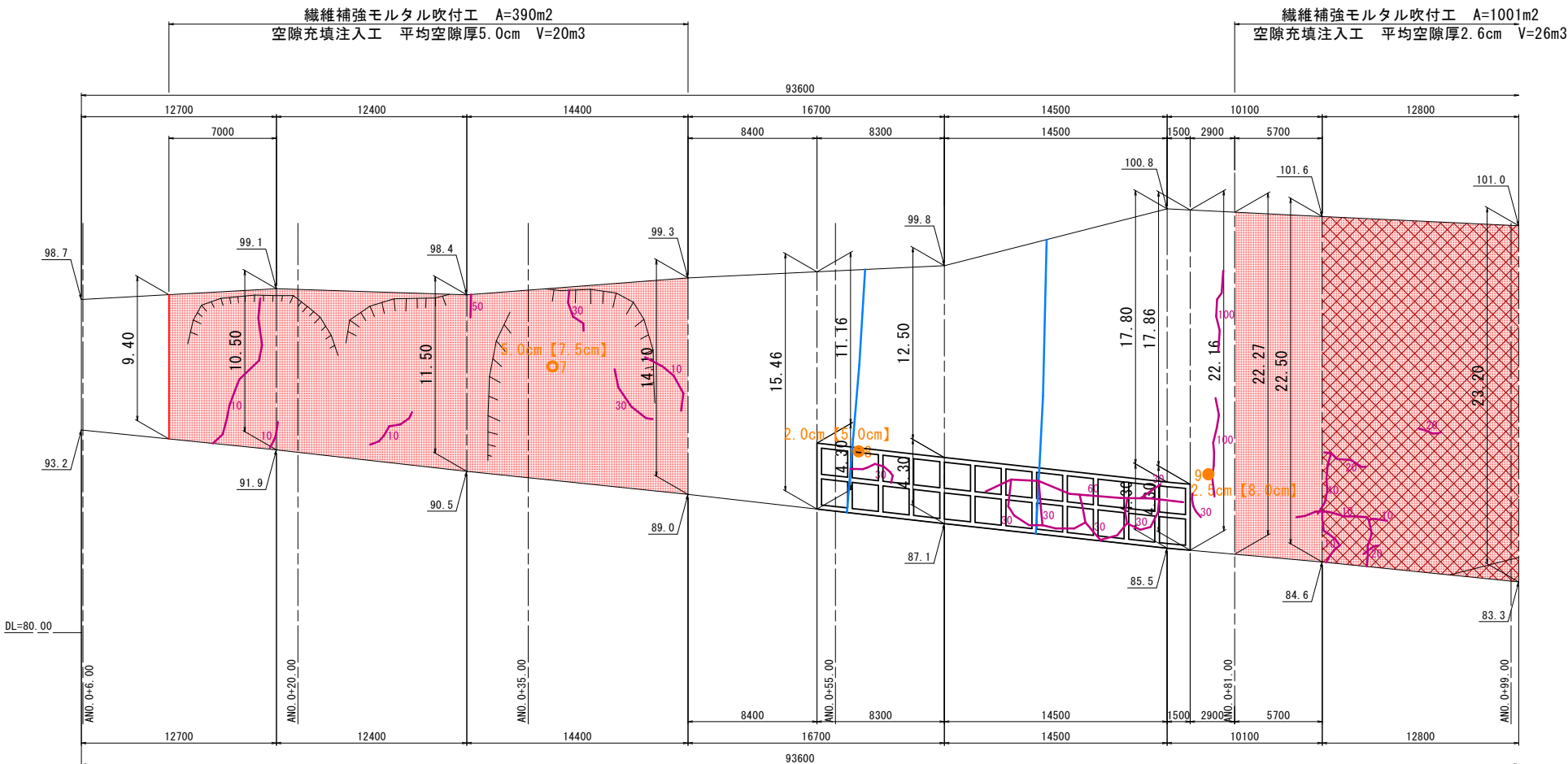
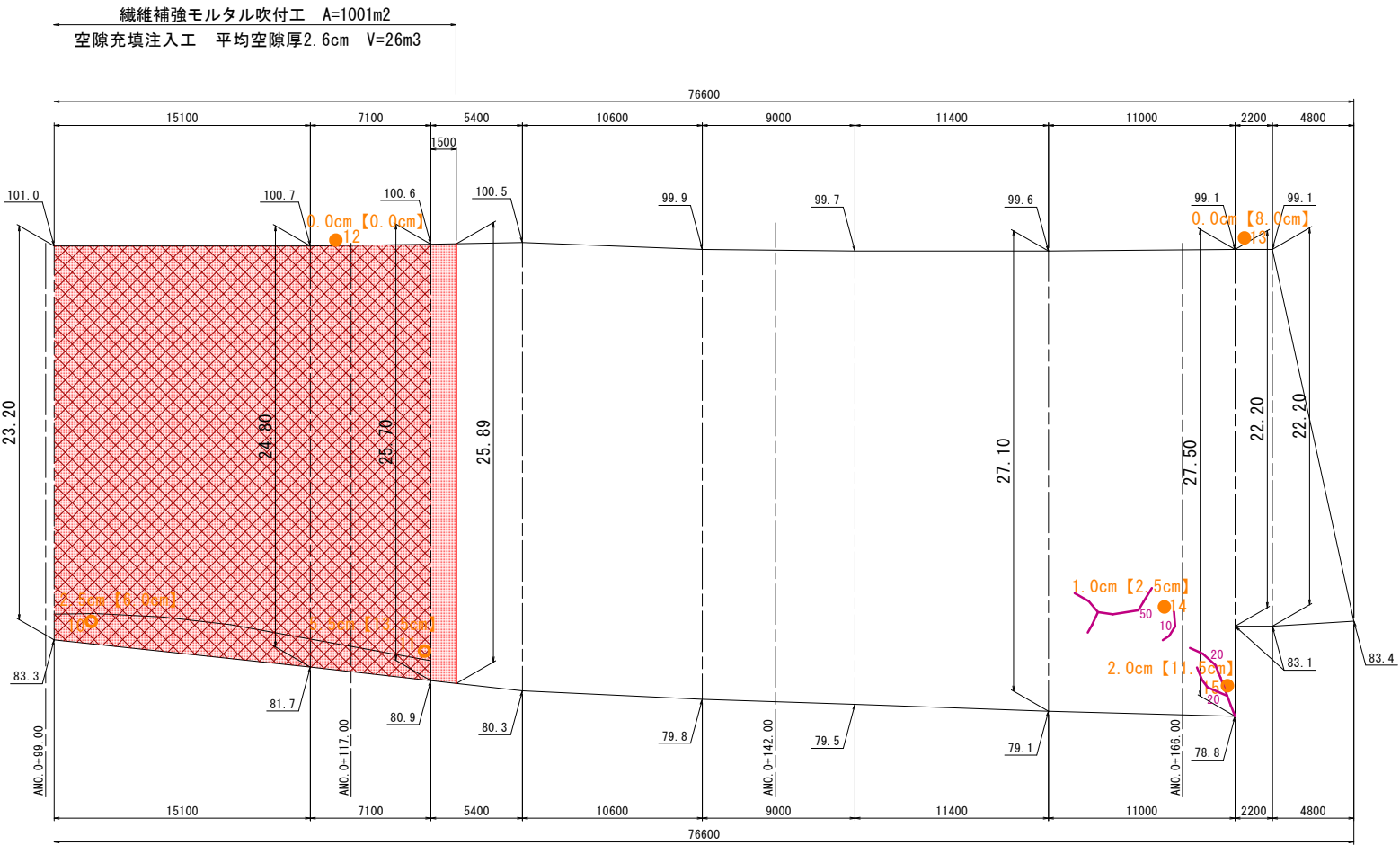
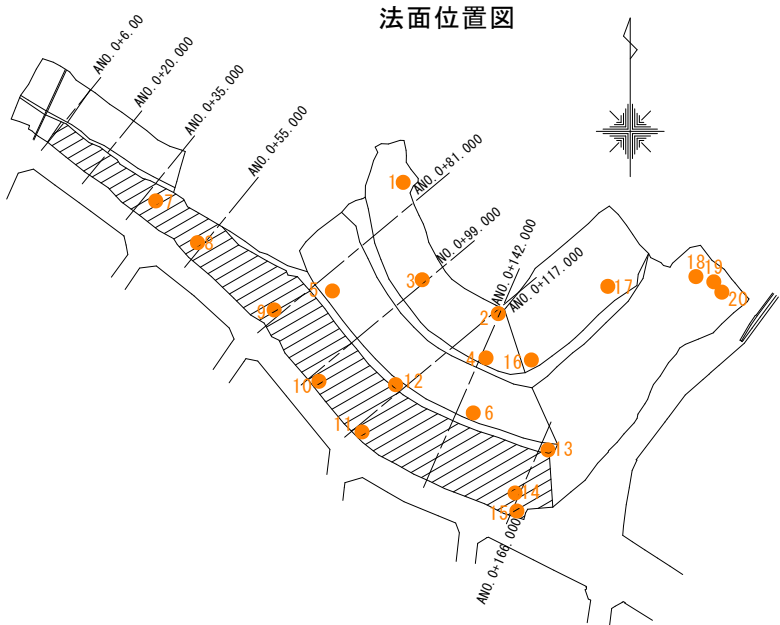
1000m ² 当たり				
名称	規格	単位	数量	備考
カップルボルト工		個	1778	1m ² に2個 (カップルプレート分を控除)
アンカーボルト工	SD345 D19×600mm	本	222	4.5m ² に1本 カップルプレート (A) 付き
注入孔穿孔工	φ40	箇所	222	4.5m ² に1本 VP30
水抜きパイプ設置工	φ65	本	250	2~4m ² に1本標準 VP50 (設計図書による)
増厚工	t=70mm 短繊維混入モルタル吹付	m ²	1000	

図面番号	5 / 5	縮尺	1:200
工種	道路のり面修繕工事		
種別	展開図	番号	/
路線名 河川	蔵王21号線・6-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

展開図

凡例	
	崩壊跡
	地形変化位置 (遷急線)
	段差を伴う 開口亀裂 幅10mm以上
	目 地
	ラス金網露出
	補 修 跡 (緑ネット)

● コア抜き実施箇所
6.0cm 【18.0cm】 空隙厚, 【空隙+土砂化】厚



参 考 图 书

施工単価表

繊維補強モルタル吹付工
タイプ4

V0001

単第0 -0001 表

1000 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
のり面水洗清掃工 圧力水洗浄	1,000	m2			単第0-0002 表
アンカーボルト削孔工 D19 L=0.6m	222	本			単第0-0004 表
アンカーボルト注入工	222	本			単第0-0006 表
カップルプレート工（A）	222	組			単第0-0008 表
カップルボルト工	1,778	本			単第0-0009 表
注入孔穿孔工	222	箇所			単第0-0011 表
増厚工 短繊維混入吹付 t=7cm	1,000	m2			単第0-0012 表
水抜きパイプ設置工	250	箇所			単第0-0015 表
*** 合計 ***	1,000	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

のり面水洗清掃工
圧力水洗浄

V1001

単第0 -0002 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.93	人			
法面工	2.79	人			
普通作業員	0.93	人			
高圧洗浄機 工事用・モータ駆動 吐出量30.1L/min圧力4.9MPa	1.86	日			
発動発電機運転 20/25kVA	0.93	日			単第0-0003 表
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0003

発動発電機運転
20/25kVA

V2001

單第0 -0003 表

1

日 当り

[illegible]

施工単価表

アンカーボルト削孔工
D19 L=0.6m

V1002

単第0 -0004 表

100

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.81	人			
法面工	15.24	人			
普通作業員	7.62	人			
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	7.62	日			
空気圧縮機運転 吐出量10.5～11m3/min圧力0.7MPa	3.81	日			単第0-0005 表
アンカーボルト D19 L=0.6m	100	本			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

頁0 -0005

空氣壓縮機運轉

V2004

單第0 -0005 表

1

目 当り

吐出量10.5~11m³/min压力0.7MPa

[illegible]

施工単価表

アンカーボルト注入工

VI003

単第0 -0006 表

頁0 -0006

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.04	人			
法面工	1.04	人			
普通作業員	1.04	人			
特殊作業員	1.04	人			
グラウトミキサ 上下2槽式 攪拌容量200L×2槽	1.04	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	1.04	日			
工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) 口径φ50mm全揚程10m	1.04	日			
発動発電機運転 20/25kVA	1.04	日			単第0-0003 表
注入材	0.19	m3			単第0-0007 表
雑材料	3	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

頁0 -0007

注入材

V2006

單第0 -0007 表

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

カップルプレート工 (A)

V1004

單第0 -0008 表

100

組 当り

[illegible]

施工単価表

カップルボルト工

V1005

単第0 -0009 表

頁0 -0009

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.56	人			
法面工	1.12	人			
普通作業員	0.56	人			
発動発電機運転 10.5/13kVA	0.56	日			単第0-0010 表
電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	1.12	日			
材料費 カップルボルト	100	個			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

頁0 -0010

発動発電機運転
10.5/13kVA

V2002

單第0 -0010 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

注入孔穿孔工

V1006

単第0 -0011 表

頁0 -0011

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.59	人			
法面工	4.77	人			
普通作業員	1.59	人			
空気圧縮機運転 吐出量10.5～11m3/min圧力0.7MPa	1.59	日			単第0-0005 表
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	3.18	日			
材料費 VP30	16	m			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

頁0 -0012

増厚工
短繊維混入吹付 t=7cm

V1007

単第0 -0012 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.11	人			
法面工	3.33	人			
特殊作業員	1.11	人			
普通作業員	3.33	人			
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	3.822	t			
コンクリート用砂 細目(洗い)	10.5	m3			
短繊維 のりファイバーNRF-03 3.1kg/m3	28.2	kg			
モルタルコンクリート吹付機(法面用) 湿式 能力0.8～1.2m3/h所要空気量10～19m3/min	7.8	時間			
計量器 骨材累加算・機械式 ひょう量300kg×1槽・2槽	1.11	日			
ベルトコンベヤ(ポータブル) モータ駆動 ベルト幅350mm機長7m	2.22	日			
空気圧縮機運転 吐出量10.5～11m3/min圧力0.7MPa	1.11	日			単第0-0005 表
発動発電機運転 37/45kVA	1.11	日			単第0-0013 表

施工単価表

頁0 -0013

増厚工
短繊維混入吹付 t=7cm

V1007

單第0 -0012 表

100 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

発動発電機運転
37/45kVA

V2003

單第0 -0013 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

ホイールローダ運転
0.34m3

V2005

單第0 -0014 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

水抜きパイプ設置工

V1009

単第0 -0015 表

100

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.22	人			
法面工	6.66	人			
普通作業員	2.22	人			
空気圧縮機運転 吐出量10.5～11m3/min圧力0.7MPa	2.22	日			単第0-0005 表
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	4.44	日			
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径50(60×4.1) 参考質量1.122kg/m	17	m			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

空隙充填注入工

V1008

単第0 -0016 表

頁0 -0017

10

m3

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	11.11	人			
法面工	11.11	人			
特殊作業員	11.11	人			
普通作業員	11.11	人			
グラウトミキサ 上下2槽式 攪拌容量200L×2槽	11.11	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	11.11	日			
グラウト流量・圧力測定装置 記録式 流量0～120L/min圧力0～5.9MPa	11.11	日			
工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) 口径φ50mm全揚程10m	11.11	日			
水槽(一般工事用) 鋼板製簡易水槽 容量5m3	11.11	供用日			
発動発電機運転 20/25kVA	11.11	日			単第0-0003 表
注入材	10.0	m3			単第0-0007 表
雑材料	10	%			#09

施工単価表

空隙充填注入工

V1008

單第0 -0016 表

頁0 -0018

m3 当り

[illegible]

数量集計表

[illegible]

数量計算書(法面工)

繊維補強モルタル吹付工

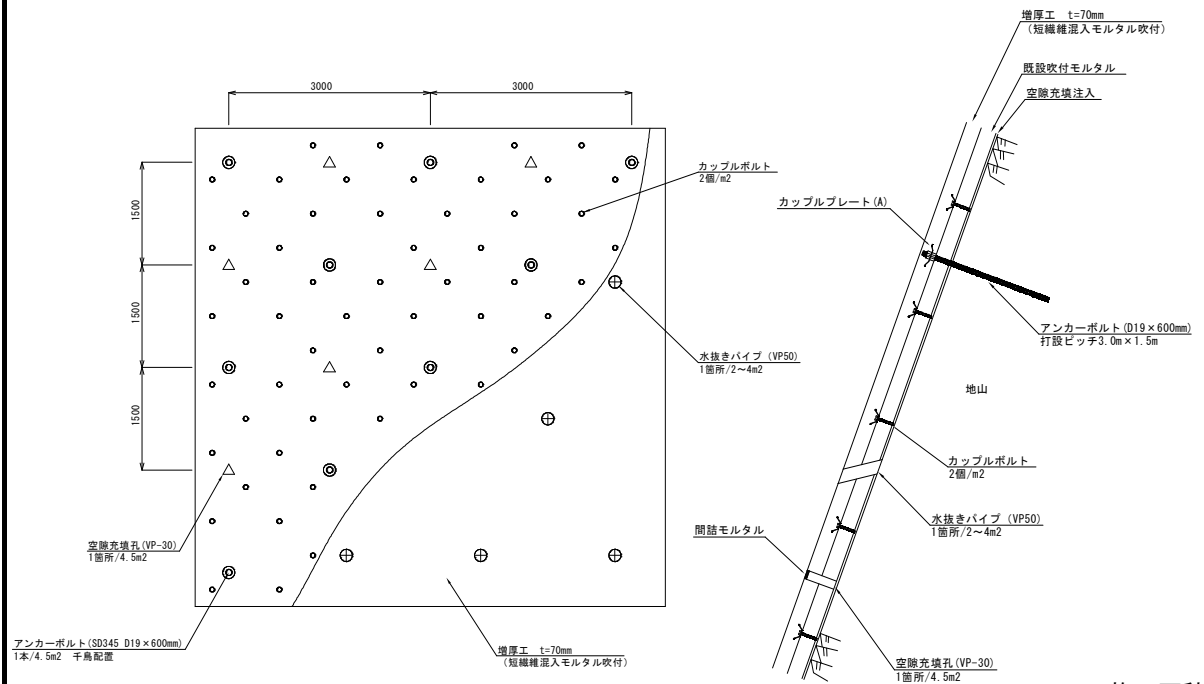
(m)

測点	法肩延長	法尻延長	平均延長	法長	平均法長	面積
(ANO.0+12付近～ANO.0+45付近)						
起点				9.400		
	7.00	7.00	7.00	10.500	9.950	69.7
	12.40	12.40	12.40	11.500	11.000	136.4
終点	14.40	14.40	14.40	14.100	12.800	184.3
小計			33.80			390.4
(ANO.0+81付近～ANO.0+123付近)						
起点				22.270		
	5.70	5.70	5.70	22.500	22.385	127.6
	12.80	12.80	12.80	23.200	22.850	292.5
	15.10	15.10	15.10	24.800	24.000	362.4
	7.10	7.10	7.10	25.700	25.250	179.3
終点	1.50	1.50	1.50	25.890	25.795	38.7
小計			42.20			1000.5
合計			76.00			1390.9

空隙充填注入工

箇所名	面積	平均空隙厚	体積
	(m2)	(cm)	(m3)
(ANO.0+12付近～ANO.0+45付近)	390.4	5.0	19.5
(ANO.0+81付近～ANO.0+123付近)	1000.5	2.6	26.0
合計			45.5

繊維補強モルタル吹付工（増厚工タイプ4）



施工面積

1391m2

1,000m²当たり

[illegible]